

## 3つのポリシー改定（再策定）にあたっての基本方針

共立女子大学、共立女子短期大学（以下、「本学」という）は、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を策定するための基本方針を次のように定める。

### I. 3つのポリシー策定の意義

- ・3つのポリシーは、複雑で変化の激しい現代社会において、生涯学び続け、主体的に考える力を持ち、未来を切り拓いていく人材を養成する大学教育へと質的転換を図るための指針となる。
- ・3つのポリシーは、大学進学率が50%を超えたユニバーサル段階を受け、単なる授業改善にとどまらず、大学として体系的で組織的な教育活動を展開することや、学生の能動的で主体的な学修を促す仕組みを充実すること、学修成果の可視化やPDCAサイクルによるカリキュラム・マネジメントの確立などに取り組むことを強く求められている大学にとって、改革を実現するための指針となる。
- ・3つのポリシーは、体系的で組織的な大学教育の実現に向け、これに関わる全ての教職員が、どのような教育を行い、どのような人材を輩出するのかを共通理解し、連携して取り組む指針となる。
- ・3つのポリシーは、本学の入学希望者や学生、保護者、高等学校関係者に対して、相互のコミュニケーションを円滑化する重要なメッセージとなるとともに、社会（地域社会、産業界など）に対し、相互に連携し取り組むための指針となる。

### II. 3つのポリシー策定にあたっての基本的な考え方

- ・3つのポリシーは、「建学の精神」「校訓」「人材養成目的」「KWUビジョン」など本学が掲げる理念・目的を踏まえて策定し、本学の特長や特色を具体的に表現する。
- ・3つのポリシーは、本学のステークホルダー（多様な入学希望者、学生、保護者、高等学校関係者、地域社会、国際社会、産業界等）がその内容を十分に理解することができるように具体的かつ簡潔に表現する。
- ・3つのポリシーは、相互に一貫性・整合性あるものとして策定する。
- ・3つのポリシーは、全学、各研究科・各学部・各科などの各学位プログラム、その下部の各教育プログラム間で一貫性、整合性あるものとして策定する。
- ・3つのポリシーは、その相互関係をわかりやすく示し、大学内外に積極的に発信する。

### III. 各ポリシーの策定方針

#### (1) ディプロマ・ポリシー策定方針

- ・ディプロマ・ポリシーは、本学の掲げる理念・目的を踏まえ、各層の全てに、「リーダーシップ」を1つ以上、観点に明示的に入れることとする。
- ・ディプロマ・ポリシーは、本学の掲げる理念・目的を踏まえ、各層の全てのディプロマ・ポリシーに対して、「実学」を踏まえた観点を立てることとする。
- ・ディプロマ・ポリシーは、卒業生が「何を学び、身に付けることができるのか」を、学術性を基盤としながらも雇用可能性（実学性や機能性など）および市民性（公共性や倫理性など）も十分に踏まえた上で具体的に策定する。

・ディプロマ・ポリシーは、大学が学修成果を、定量的又は定性的な根拠に基づき評価するため、「学生は、～することができる」といった形式で記述する。

・ディプロマ・ポリシーは、各観点に対して、学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と学ぶ態度）や観点別学習状況（知識・理解、技能、思考・判断・表現、関心・意欲・態度）を踏まえて作成し、学生の教育目標を具体的に定める。

・ディプロマ・ポリシーは、アセスメントプランに定めるアセスメント（ディプロマ・ポリシー成績連動、ディプロマ・ポリシー自己評価）が可能な内容となるように具体的に策定する。

・ディプロマ・ポリシーは、カリキュラム・ポリシーに示す卒業要件全体（教育内容に示すこと（初年次教育、教養教育、専門教育））を踏まえ具体的に策定する。

## （2）カリキュラム・ポリシー策定方針

・カリキュラム・ポリシーは、本学が掲げる理念・目的を踏まえて策定する。

・カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育課程編成、当該教育課程における学修方法・学修過程、学修成果の評価の在り方等を具体的に策定する。

・カリキュラム・ポリシーは、教育内容は、初年次教育、教養教育、専門教育という3つの観点から策定する。

・カリキュラム・ポリシーは、教育方法は、能動的学修（アクティブ・ラーニング）の充実、きめ細かなフィードバックの実施、学修指針としての適切なシラバスの作成等、本学の教育の質的転換に向けた取組の特長や特色を示す。

・カリキュラム・ポリシーは、特に初年次教育について、多様な入学者が自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できるようにする観点から充実を図ることとする。

・カリキュラム・ポリシーは、学修成果の評価について、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力・資質及びこれらの総合的な活用力の修得状況を適切に把握し、評価するための手法を具体的に表現する。

## （3）アドミッション・ポリシー策定方針

・アドミッション・ポリシーは、本学が掲げる理念・目的を踏まえて策定する。

・アドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえて、本学の入学者選抜や求める人材像について特長や特色が分かるように策定する。

・アドミッション・ポリシーは、「学力の3要素」を観点として具体的に表現する。

・アドミッション・ポリシーは、求める学生像について、入学前の学習歴、学力水準、能力、態度等について示す。

・アドミッション・ポリシーは、入学者選抜において、評価方法を多角的に活用するのか、それぞれの評価方法をどの程度の比重で扱うのか等を具体的に示す。

## IV. 3つのポリシーの策定単位

・3つのポリシーは、学位取得のために求められる知識・能力を具体的に明示するとともに、全学レベル、学部・科などの各学士プログラムレベル、その下部の学科・領域・コースなど各教育プログラムレベルで策定し、多層的に構成することとする。

・3つのポリシーは、上記の基礎として、策定する教育プログラム上の最小組織単位をあらかじめ定め、策定することとする。

・3つのポリシーは、大学院においては、大学院のポリシーを踏まえて専攻、コース単位で策定することとする。